



# 研修センター通信

Vol. 22

平成27年7月16日

発行:教育研修センター

## 研修医からひとこと

研修医 一年次 松永 恭輔

はじめまして、平成27年度より藤枝市立総合病院初期臨床研修医として赴任いたしました松永恭輔と申します。分らないことが多すぎてご迷惑おかけしておりますが、ご指導よろしくお願いたします。初期研修が始まり3か月が経ちました。将来をどうするか、自分に向いている科はどこだろうか、色々考えることが多い中、しっかりと勉強しなくてはと焦りも出てきております。

仕事に対しては手探りで、上の先生らの仕事を見て少しずつ覚えながら時々ありがたい「喝」を頂き学ばせていただいております。現状、「自分は気持ちに余裕が無いなー」と思いつつ、余裕が無いと焦ってミスにつながるため、しっかりと気をひきしめてゆきたいです。休日の使い方は？と聞かれて困ってしまうのが、「暇さえあれば寝ています」としか答えられないのがお恥ずかしいことなのですが、皆様どなたでも、睡眠時間を削っても元気に働く術をご教授願えますか？

そんな私を今後ともよろしくお願いたします。



研修医 一年次 松山 周平

はじめまして。初期研修医1年目の松山周平と申します。この場をお借りして、自己紹介を含め一言ご挨拶させていただきます。よろしくお願いたします。

私は学生時代から様々なスポーツに携わって来ました。特に大学時代に所属した部活であるラグビーから学んだことは大変多く、継続性・協調性・相手に対する敬意など、挙げればキリがありません。その中でも特に、ラグビーの特徴と言えるのは真向から突入する勇気だと思います。いかに足が速くても、いかにパスが上手くても、全力で向かってくる相手と正面から衝突する勇気がなければラグビーは成り立ちません。私も、少なからず培った勇気を持ち続けたいと思います。

また私は念には念をという気質のせいで、仕事が遅い事が最大の欠点です。特に初めのうちは、そのせいでご迷惑をおかけする事も多々あるかと思いますが、先生方やコメディカルの先輩方、また同期を見習って少しでも早く仕事に慣れるよう努力していく所存です。そのためにも疑問に思ったことを自分で考え調べ、それでもまだ把握しきれない場合は恥を恐れず、聞く勇氣も持ち合わせていたいと思います。これから大変長い間こちらの病院でお世話になります。何事にも全力で取り組んでいく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。



## <今後の予定>

- 17日(1年次) 新人フォローアップ研修
  - 17日(全員) 研修医症例発表会 (講演:西伊豆仲田院長)
  - 18日(川口、大塩) 東大まるごとフェスタ
  - 19日(鈴木悠、本庄、中村仁) レジナビフェア東京
  - 21日(豊田、立田) 感染医安対策委員会
  - 22日(関係者) 研修評価模擬サーベイ
  - 23日(全員) Webセミナー(福井大林教授)
  - 23日(全員) 診療部会議(中村仁)
  - 24日(1年次) 深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症予防研修会
  - 28日(全員) 医療安全対策研修会
  - 29日(全員) 卒後臨床研修評価 認定更新サーベイ
- ※ホスター等で日時を確認してください
- ※研修医の代表が出席するものについては、出席後、全研修医に伝達すること

## 7月29日(水)

### 卒後臨床研修評価 認定更新サーベイ日です。

第三者機関(NPO法人卒後臨床研修評価機構)による、研修プログラムの実態評価が行なわれます。サーベイヤー3名が来院し、研修医や指導医等に直接インタビューするなど、終日院内の各部署を訪問します。病院全体で研修医を育成しているかなど、医師ばかりでなく、指導者と呼ばれる看護師や技師の関わりなども評価の項目です。



前回受審(H25. 7)

## 母校で後輩に熱弁!!

### 研修医1年次稲垣Dr

7月10日、キャリア教育講座「仕事魅力 発見! 社会人セミナー」(静岡新聞社・静岡放送主催)が、稲垣Drの母校藤枝東高校で行われました。高校1年生2クラスの生徒に対し、医師を志したきっかけや地元藤枝に貢献する熱い気持ち、また高校時代の懐かしい思い出を交えながら、後輩たちに熱く語りかけました。生徒たちは稲垣Drに続けとばかりに眼を輝かせ、食い入るように話を聞いていました。授業の最後には、医師になるまでの道程や高校時代に取組むべき勉強など、事細かに質問していました。



発見! 社会人セミナー